

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870500414
法人名	新居浜医療生活協同組合
事業所名	グループホーム香り草
所在地	新居浜市新田町二丁目8番24号
自己評価作成日	平成25年10月1日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成25年11月28日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

古民家を改修した建物で、入所者が今までの暮らしてきた生活感を大切にしている。又、住宅地の中にあり、庭に出れば近所の方と挨拶できる環境にあり、地域の中での当たり前の暮らしができるよう工夫している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

外出のお好きな利用者が多いこともあり、この1年はできるだけたくさん外出や外出に出かけられるよう取り組まれた。桜や菖蒲、芍薬等の季節ごとの花見や紅葉見物に出かけられ、最近ではマリノパークに出かけ海と山を眺めて、利用者はたいへん喜ばれたようだ。法人内でのバスツアーが年2回あり、2名の利用者の方が参加され、遠出を楽しまれた。新年の初詣は、ご家族の都合等をうかがって、一宮神社へ一緒に初詣に出かけられるよう、計画をされている。

1ヶ月の半分、昼・夕食は、業者から届く材料を用いて調理し、その他は利用者の希望をお聞きしながら、職員が献立を立てて食事を作っておられる。調査訪問時、職員と一緒に利用者のひとりが配膳や食後の食器洗いを行っておられた。利用者の状態に合わせて、もやしの下ごしらえやじゃが芋をつぶす等、座ったままでできる作業を行えるよう、支援されることもある。週に2回、歯科衛生士が来られ、口腔マッサージや口腔ケアを受けておられる。利用者によっては、「腹8分にして運動するのが健康なんよ。おなかいっぱい食べたいかん」と言って、ご自分でご飯をお茶碗にそょう方もおられた。お天気の良い日には、外のテラスで食事を楽しむこともある。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目		取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらい 3. 家族の1/3くらい 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目：11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらい 3. 職員の1/3くらい 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらい 3. 家族等の1/3くらい 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない			

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム 香り草

(ユニット名) _____

記入者(管理者)

氏名

菰田 八千代

評価完了日

平成25年10月1日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所 理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有 して実践につなげている	(自己評価) 玄関入口と廊下に提示しており、理念の共有と実践を心がけている。	
			(外部評価) 開設時から「自分がされていやなことは人にはしない」と、事業所理念を掲げておられ、理念は、毛筆で大きく書いて掲示しておられる。管理者は今後、職員会時にみんなで唱和したり、日々のケアの中で理念を口に出して言ってみる等して、さらに理念の実践につなげていきたいと考えておられた。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられる よう、事業所自体が地域の一員として日常的に 交流している	(自己評価) 自治会に加入し公民館行事、地域の運動会やお祭りなどに参加し、地域の一員として交流している。	
			(外部評価) 近所の方と日常的に交流があり、事業所の庭の木の剪定時期を教えてください、育てた花を持って来て一緒に植えてくださったり、ご自宅に咲いた花をくださることもある。又、時には、古布等も寄付して下さったりする。職員は、利用者と一緒に近所の商店に野菜や魚等の買い物に出かけておられる。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症 の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向 けて活かしている	(自己評価) 運営推進会議等で研修報告や、勉強会等を取り入れ、地域の人達との交流を深めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>新しい地域の方々等に交わって頂き勉強会や意見交換をしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>会議は、事業所内で利用者の様子をみていただきながら開催されている。地域の見守り推進員や近所の方、市の職員の参加があり、時には、口腔ケアについて勉強会を行ったり、消防訓練を採り入れておられる。近所の方は、市内の紅葉のきれいな場所や外食によいお店等を教えてくださっている。</p>	<p>ご家族にも会議参加を呼びかけておられるようだが、現在のところは、参加につながっていないようだ。頻繁に来訪されるご家族もおられ、今後はさらに、利用する側であるご家族や利用者にも会議に参加いただけるよう、働きかけを工夫されてほしい。</p>
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>運営推進会に参加して頂き、ホームの運営等困った時相談指導をしてもらっている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>地域包括支援センターの方が運営推進会議に参加していただき、センターは、認知症の総合相談窓口でもあり、いつでも気軽に相談してほしいと話して下さったことがある。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>身体拘束のマニュアルを作成し、運営会議を通してスタッフ間で共有している</p> <p>(外部評価)</p> <p>調査訪問時、玄関は網戸にして、利用者は自由に出入りできるようになっており、外で過ごすことが好きな利用者が、庭に出て職員とお花をみながら、おしゃべりをされていた。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 運営会議にて各利用者様の現状の把握と状況を協議共有し、身体拘束ゼロと事故防止に努め、一人ひとりの人格を尊重した対応を心掛けている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 権利擁護に関する研修等に参加している。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 十分な説明の後、納得し、了解をいただけた時点で契約書を作成している。契約書改定時も家族等の意見を考慮している。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 苦情処理箱の設置している。問題が起きる度に臨時運営会等開き、外部の人達の意見などを聞いている。 (外部評価) ご家族の中にはご家族同士の交流を好まないような方もおられ、現在は、家族会は開催していない。毎月の「たより」に写真を載せる場合は、ご家族に許可を取るようになっている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			月1回の運営会議の前には職員の意見をまとめ、運営会議で話し合いをしている。	
			(外部評価)	
			職員の提案で、廊下の照明をセンサー式に替えておられ、職員は、利用者の動きが分かりやすくなったようだ。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			働きやすい職場にする為にコミュニケーションを図り、明るく楽しい職場づくりに努めている。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			各種の研修にどんどん参加してもらい、実践に生かせるよう運営会等で発表し、皆で共有している。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			同業者との交流会を持ち、相互研修等でサービス向上に努めている。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			日常生活の様子等解って頂く為に、ご本人とご家族に見学していただき、雰囲気を知っていただいている。また、要望・気付いた事があれば直接お話を聞かせていただいている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 入居時にご家族から今後の希望等を遠慮なく話が出来る様配慮し、またサービス計画に反映している。	
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 必要としている支援を具体化し、ケアプランをたてそれに基づいて対応している。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 人生の先輩として尊重し、支えあう関係作りをしている。	
19		本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) いつでも声掛けし、気軽にご家族が立ち寄り楽しい一時を過ごせるよう配慮している。	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 昔の友人、地域の方、隣人等、気軽に来ることが出来る様に支援している。 (外部評価) ご自宅が事業所の近くにある方は、ご自宅と事業所を行ったり来たりしながら、自由に過ごせるよう見守り支援されており、食事時には事業所に来られ、夜間はご自宅の方が落ち着くということでご自宅で休まれることもあるようだ。事業所では毎朝、馴染みの地名が入った歌のCDに合わせてレクリエーション体操を行っておられ、利用者は、「子女郎狸ばやしの音楽がかかったら自然に体が動く」と話しておられた。利用者の希望で、入居前に通っておられたデイサービスに数名で遊びに出かけておられ、利用者や職員、場所との関係を継続できるよう、支援されているケースもある。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) リビングで体操の音楽がかかると、楽しい雰囲気体操されている。一緒に体操することによって通じ合う物がある。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 入所前に利用していたサービス機関・サービス関係の行事に参加をしたり、退所されたご家族と関係も続いて交流が持てている。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 本人の今までの歴史を探り、家族との関係を大切に、本人にとってやすらげる場所になるよう努めている。意向確認が出来ない場合は、本人にとって一番良いと思われる暮らし方を検討している。 (外部評価) 職員は、日々の介護記録に、利用者の気になるようなことばを書き留めておくようなこともある。利用者の中には、居室で絵を描かれるのがお好きな方がおられ、根を詰めて描かれる時には、職員がお茶にお誘いする等して休み休み行えるよう支援されている。回転寿司に出かけた際には、利用者のご自分でお好きなものを選び、普段はわからなかった好みを知ることができたようだ。	職員は、毎月職員が集まる運営会時に気付き等を話し合っておられる。職員が日々利用者とかかわる中で得た情報を蓄積して、職員で共有しながら、その人らしい暮らしを続けるための支援につなげていかれてほしい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) これまでの暮らし方やご家族との関係を探り、サービス利用内容等の把握に努めている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 日課表を作成し一日の過ごし方を把握している。また、心身状態を日々観察し、現状の把握に努め、必要に応じ声掛けを行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価) ご本人やご家族の意向を確認し、ご利用者の日々の心身状況の変化を把握し、運営会議やサービス担当者会議で意見を出し合い、問題点などを話し合い、共有することで介護計画に反映させている。</p> <p>(外部評価) 計画作成担当者が聞き取りを行い、介護計画を作成しておられ、3ヶ月ごとにモニタリングを行い、見直しにつなげておられる。入居時、車椅子を使用していたが、利用者が「自分でトイレに行けるようになりたい」と希望されたことをきっかけに、計画に希望を採り入れ自立支援に取り組み、状態が改善した事例がある。始めは、立ちあがり等が安定するよう支援し、モニタリングや評価を重ね、段階に応じて見守りながら歩行できるよう支援された。現在は、事業所内では、安定した歩行ができるようになり、ご自分でトイレに行けるようになり、戸外へは、杖を使用して散歩できるようになっておられる。計画作成担当者は、ご家族・職員が見て解かりやすいように、モニタリング用紙の変更をすすめておられる。モニタリング用紙は、利用者・ご家族の介護計画に対する達成状況や、満足度を反映できるようになっている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価) 日々の状態・記録を記入し、スタッフ間の共有を図り、問題があれば、介護計画の見直しに活かしている。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) ご本人やご家族のニーズに対応出来るサービスを検討し、多職種との連携を図ることにより事業所の多機能化に努めている。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価) 地域住民と良好な関係をつくり、気軽に事業所へ出入りができ、交流が図れるよう支援している。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>かかりつけ医の選択はご本人とご家族で選んでいただき、訪問看護(24時間対応)や、かかりつけ医との連携を図り、関係を築くことにより、適切な医療が受けられるよう支援している。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>受診は基本的にご家族が付き添っておられる。ご家族のご都合がつかない時には、ケアマネジャーが同行して支援されている。協力医が、月2回往診に来てくださる。連携の訪問看護事業所に毎日、利用者のバイタル表をFAXしておられ、月に20回、(土曜日曜も含めて)看護師が来て、利用者の健康管理をされている。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>訪問看護師との連携を取り、必要に応じて相談しアドバイスを受けている。</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入院時、本人・家族と連携をとり、ソーシャルワーカーを通じ、情報交換をしている。ソーシャルワーカーとは良好な関係づくりができており、退院に向けての協同も出来ている。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>重度化や終末期を迎えた時に起こり得る。心身状況の変化など家族とスタッフが共有し、医療機関や家族、スタッフが連携し、ターミナル支援の同意を得た上でターミナルケアにかかる同意書を頂き共に取り組んでいる。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>利用者の状態に合わせて、重度化した場合や終末期の支援について説明をされ、時期をみて看取りの意向を聞くようにされている。現在、終末期のあり方についての希望を聞き取っている方はおられないが、近いうちにすべての利用者にご家族に重度化や終末期の意向をうかがい、事業所でできることを説明したいと考えておられた。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価)	
			医師や訪問看護師の内部研修を受けて、実践力が身につくように努めている。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価)	
			運営推進委員会などで地域の方々に、協力をお願いし、当ホームの避難経路などを話し合ったり、避難通路の整備に努め、訓練には、地域の方にも参加してもらい、地域と協力して災害対策に努めている。	
			(外部評価)	
			9月に夜間想定消防避難訓練を、消防署員立会いのもと実施された。運営推進会議と兼ねて実施し、地域の方には駐車場に避難した利用者の見守りをお願いされた。消防署員からは、「現在の避難場所になっている駐車場は近すぎるから、もう少し離れた場所に変更したほうが安全」とアドバイスがあり、新しい避難場所を決められた。	
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価)	
			一人一人の性格やその人の気持ちを汲み取り、笑顔で安心出来る様に接する。	
			(外部評価)	
			早口な利用者には「ゆっくりと大きい口を開けて話そうね」と声をかけ、利用者同士で会話が続くように支援しておられる。調査訪問時、デイサービスに遊びに行く利用者に職員は「いってらっしゃい。気を付けてね」とやさしく声をかけておられた。利用者の中には、居室前の廊下を毎日20分歩いて運動する方がおられ、職員は安全に行えるよう、さりげなく見守っておられる。調査訪問時は、スクワットを行って見せてくださった。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価)	
			常に声掛けをして、表情や仕草で思いや希望を汲み取り自己決定を促している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、 一人ひとりのペースを大切に、その日をどのよ うに過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 一人一人のペースに合わせて希望に添える様に工夫して対 応する。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよ うに支援している	(自己評価) ご自分の衣類等、職員と一緒に選んでいる。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に 準備や食事、片付けをしている	(自己評価) ご自分の食べられた後の食器は、ご自分で洗うよう支援して いる。	
			(外部評価) 1ヶ月の半分、昼・夕食は、業者から届く材料を用いて調理 し、その他は利用者の希望をお聞きしながら、職員が献立を 立てて食事を作っておられる。利用者からカレー・ばら寿司・ コロッケ・肉じゃが等の希望があるようだ。調査訪問時、職員 と一緒に利用者のひとりが配膳や食後の食器洗いを行って おられた。利用者の状態に合わせて、もやしの下ごしらえや じゃが芋をつぶす等、座ったままでできる作業を行えるよう、支 援されることもある。週に2回、歯科衛生士が来られ、口腔 マッサージや口腔ケアを受けておられる。利用者によって は、「腹8分にして運動するのが健康なんよ。おなかいっぱい 食べたらいかん」と言って、ご自分でご飯をお茶碗によそう 方もおられた。お天気の良い日には、外のテラスで食事を楽し むこともある。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じ て確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣 に応じた支援をしている	(自己評価) 個々の水分摂取量を計り把握している。刻み食、糖尿病食 の栄養バランスや摂取量等、個別支援に取り組んでいる。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、 一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔 ケアをしている	(自己評価) 口腔ケア、口腔マッサージ等で清潔保持し、誤嚥予防をして いる。週2回口腔リハビリのボランティアさん来所により、指導 を受けている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	<p>排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている</p>	<p>(自己評価) 個別に排泄の時間帯を探り、声掛けやトイレ誘導で自立出来る様になっている。</p> <p>(外部評価) 居室からトイレの場所が遠く感じる方は、ご本人の状態に合わせて居室にポータブルトイレを置いて使用されている。調査訪問時、職員が声をかけながら居室まで手引きして、ポータブルトイレで排泄できるよう、支援されている様子がみられた。時間ごとに誘導して支援するケースもある。ご自分でトイレに行かれるが、トイレの場所が分かりづらい方には、利用者が場所を覚えられるよう、「廊下をまっすぐ行って突き当たりがトイレです」と繰り返し伝えておられる。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 各々体調に応じた食事や、野菜ジュース等水分補給につとめている。毎朝健康体操をしている。</p>	
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>(自己評価) 入浴日は決まっているが、各自の体調を考慮しながら各々に応じた入浴支援を行っている。</p> <p>(外部評価) 入浴は週に4回で、曜日を決めて支援されている。利用者はお風呂がお好きな方ばかりのようで、入浴剤の種類等も替えて楽しめるよう支援されている。色は、緑や桃色が人気のようだ。浴槽がやや深いため、浴槽の底に浴槽台を敷き支援されている。ご自分の好みのシャンプーを使う方もおられる。利用者のひとりが、使用後の浴室を毎回きれいにお掃除してくださっている。</p>	<p>現在、利用者によっては、シャワー浴と足浴を支援している方もあるが、入浴がお好きな利用者が、さらにお風呂を楽しめるような支援を工夫されてみてほしい。今後さらに、入浴の希望や習慣等を探りながら、支援の工夫を重ねていかれてほしい。</p>
46		<p>安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>(自己評価) 各自の生活リズムや生活習慣に合わせて思い思いに自室で休まれたり、リビングで過ごされたりしている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 処方箋に目を通し、効能、投薬方法の把握を全職員が共有し、支援している。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 洗濯たたみをしたり、食器洗いをしたり地域の商店に買い物に出かけたり、個々の趣味等を楽しまれている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 家族との外出を楽しんだり、職員同行でドライブや外食などに出かけている。 (外部評価) 外出のお好きな利用者が多いこともあり、この1年はできるだけたくさん外出や外食に出かけられるよう取り組まれた。桜や菖蒲、芍薬等の季節ごとの花見や紅葉見物に出かけられ、最近ではマリパークに出かけ海と山を眺めて、利用者はたいへん喜ばれたようだ。法人内でのバスツアーが年2回あり、2名の利用者の方が参加され、遠出を楽しまれた。新年の初詣は、ご家族の都合等をうかがって、一宮神社へ一緒に初詣に出かけられるよう、計画をされている。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 買い物等に出かけ、自分の欲しい物等を選んで楽しまれている。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 手紙のやり取りの支援をしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>リビングは皆が集まれる場所になっていて、季節の花や、写真や利用者の描いた絵を飾っている。キッチンからの包丁の音や、食材のにおいを感じ、食事を楽しみに待たれている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>玄関や居間には、コスモス等の季節の花を活けておられた。庭で採れたかりんも飾っておられた。昼食後には、庭のベンチで利用者と職員が日向ぼっこしながら、一緒に歌を歌っておられた。居間やトイレ・洗面所の照明を最近LED電球に交換され、明るくなったようだ。利用者二人は花札を楽しんでおられ、「この人の方が強いんよ」と笑顔で話してくださった。利用者が描いた絵を廊下や玄関に飾っておられ、ご本人が季節毎に掛け替えておられる。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>リビングで気のあった利用者さん同志が会話したり、テレビを観たり、ゲームをされたりしている。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>思い出の品が飾られている。若いころ使用されていた、昔ながらの家具や、道具等を置き、馴染みの生活空間に工夫している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>居室は、利用者の好みや状態に合わせて、ベッドや畳に布団を敷いて休めるようにされており、毎朝ご自分で布団を片付ける方もいる。調査訪問時には、居室の掃出し窓も開けて換気をしておられた。ベッドに手すりを付け、立ち上がりが楽になり、喜ばれている方もいた。化粧品や趣味の用具を置いている方や、ポットを置き、ご自分でお茶を入れて飲む方もいる。絵を描くことが趣味の方は、調査訪問時、自作の絵の説明をしてくださった。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>利用者一人ひとりの生活の在り方を尊重して、自室での暮らし方を自分らしく過ごしていただくために、職員があまり介入せずに自由な生活を送れるように努めている。</p>	